



課外授業に参加した子たちからは、「これほど自由に移動し学ぶという機会は初めて。一緒に参加してくれた両親、先生、クラスメートとバグマティ川に行ったことで、より環境について感じ、身近な気持ちになりました。」
といった感想が聞かれました。



どこで

■ネパール カトマンズ郡北部 ジョルパティ地区・ポータナート地区・ゴカルナ地区

だれが/だれと

上記地区内の小中学校の生徒たち、環境教育担当教員、生徒たちの保護者を含む地域住民



なぜ

ネパールの首都カトマンズを流れるバグマティ川は、近年の急激な人口増加に伴い、大量のごみ投棄や排水の垂れ流しにより極端に汚染されています。行政だけに頼っているだけでは解決できない問題に目を向け、失われたバグマティ川の再生のために、カトマンズの住民たち自ら「何をすべきか」を考え、地元の環境問題に取り組むためのサポートをしてきました。

2013 ハイライト

2012年12月から開始した教師向け研修には、のべ401名が参加しました。教師たちはバグマティ川での課外授業を実施。9校からの参加者581名（生徒と保護者と教員）がバグマティ川の上流から下流を訪れ、川の現状を知るための観察を行いました。その後、地元についてよく知るためのグリーンマップ作成研修を、4校210名（生徒と保護者と教員）が実施しました。また2013年2月からは、地域住民が管理運営できる分散型排水処理施設をつくるための準備をスタートしました。

これから

地域住民が一丸となって環境保全活動をおこなう状態をめざします。2014年度は引き続き研修を実施すると共に、環境教育の副読本を作る取り組みや、生活排水・家庭ゴミのコントロールなど日常的な環境保全活動を学ぶ研修も実施予定です。さらに分散型排水処理施設の建設に向けて、地域住民に施設建設の詳細（施設の仕組み、コスト、材料など）を共有し、汚染のメカニズム・日常的なゴミ処理方法・施設の保全方法・水質検査の方法等に関する研修を行います。



Project
P4111

NEPAL